

掲 示 板

専門点訳「はじめての理数系教材点訳コース」 を開講

毎日新聞大阪社会事業団との共催で、問題集や副読本に必要な理科・数学の点訳の概要、教材の製作のポイントを学ぶ講習会を実施します。

日時 8月24日、31日、9月14日(いずれも土曜、全3日間) 10時～15時

講師 加藤俊和氏、福井哲也氏、他

受講料 1,200円 定員 15人

対象 日本語点訳の経験があり、理数系の教材の点訳に興味のある方

申込 当館点字製作係(電話06-6441-1028)へ実施要項をご請求の上、7月30日(火)必着でお申込みください。

点訳・音訳ボランティア養成講習会を開講

当館で活動していただくボランティアを養成するため、標記の講習会を9月から開講します。

◆点訳ボランティア養成講習会(中級)

日時 9月3日～12月10日(10月8日・11月19日を除く火曜、全13回)

受講料 無料 募集人数 若干名

対象 すでに点訳の基礎を習得しており、事前課題(申込締切後に配布)を提出し合格された方

申込 当館点字製作係(電話06-6441-1028)へ実施要項をご請求の上、7月25日(木)必着でお申込みください。

◆音訳ボランティア養成講習会(2)

日時 9月18日～1月15日の13時～14時50分(12月25日・1月1日を除く水曜、全16回)

受講料 7,000円 定員 12人

対象 当館の音訳講習会(1)の修了者、または他の音訳・朗読講習会を修了しているか、すでに音訳活動を始めている方で、いずれも受講前テストに合格した方

申込 当館録音製作係(電話06-6441-1017)へ実施要項をご請求の上、7月24日(水)必着でお申込みください。

7月の休室について

7月13日(土)=製作部休室(15日月曜指定祝日の振替)

【エンジョイ!グッズサロンと図書貸出】

7月11日(第2木曜)=書庫・在庫整理日

7月16日(火)=15日(月曜指定祝日)の振替休室

※3階総務係と4階会議室は、上記いずれの日も開室

点字で学ぶ子どもたちの教育の保障をめざして ～「教点連」の活動紹介～

当館が加盟する「全国視覚障害児童・生徒用教科書点訳連絡会(以下、「教点連」)」は、インクルーシブ教育(地域の学校で、すべての児童・生徒が共に学ぶこと)を受ける視覚障害の子どもたちのために、自治体からの依頼を受けて、主に小・中学校の点字教科書を製作しています。ボランティアグループ・点字図書館・点字出版所・個人など約30の個人と団体で構成されており、当館は事務局業務の一部を担っています。「教点連」の活動と、当館の取り組みを紹介します。

(点字製作係主幹・奥野真里)

自主開催のセミナーでスキルアップ

近年の教科書は、非常にビジュアル化されています。子どもたちの関心を引くため、イラストや写真、マンガ、図、表なども多く掲載されています。また、デジタル教材と連動したQRコードが付与され、タブレットやスマホで読み取ると、インターネットにアクセスして音声や3D画像、映像が視聴できるようになっています。このような様々な趣向を凝らした教科書を、どのように点訳すれば良いのか、点訳ボランティアの皆さんは日々、奮闘しています。

教点連では、点字教科書の製作に必要な技術や知識を得るためのセミナーを、年に2回企画し、会員以外の施設職員や点訳ボランティアも広く受け入れて開催しています。先日行われたセミナーでは、視覚支援学校用の理科の教科書を事例に、星座の位置の表し方やグラフの書き方など、子どもたちが点図を触った時に理解しやすくする工夫を学びました。



「新編 新しい算数4(上)」の点字教科書と
墨字教科書

担当する施設・団体のコーディネイト

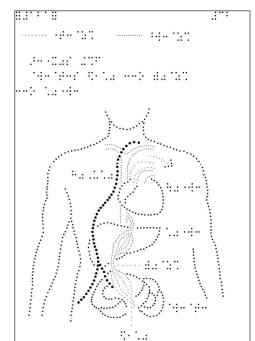
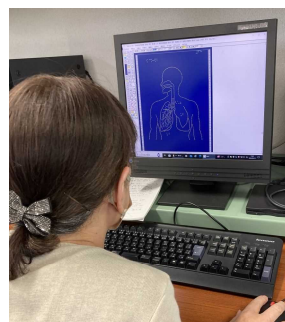
教点連の大きな役割が、もう一つあります。それは、各自治体から依頼を受けた教科書を、

どこの団体が担当するかを調整するコーディネイトです。このコーディネイトは当館が請け負っています。

まず、自治体から教点連に問い合わせが来たら、メーリングリストで会員に依頼内容を配信し、受託可能な団体があるか確認します。すぐに手が挙がる時は良いのですが、なかなか決まらない時は、各団体の担当者に個別に連絡し、調整することも。自治体からは急を要する依頼が多く、各団体とのやりとりは短期決戦になります。かなり緊迫しているため、分担が決まったときの安堵感は大きいものがあります。

近年、新たなボランティアの成り手が少ないことや、ベテランの点訳者の高齢化による引退などで、点訳ボランティアは全国的に漸減傾向にあります。教科書・教材の分野においても同様で、どの地域でも点訳者不足に悩まされているのですが、特に理数系の点訳・校正者が激減しており、養成が急務となっています。

進化するAI技術による自動点訳の活用を提案されることもありますが、前述の通り、様々な資料の集合体である教科書・教材の点訳は一筋縄ではいかず、まだまだ、人によるケースバイケースでの判断が必要なのです。



専用ソフトでの作画作業(左)と点図データ(右)

当館の教科書・教材点訳の取り組み

当館は、遡ること約40年前からインクルーシブ教育用の点字教科書の製作に携わっています。また、教点連が発足した2005年以来、積極的に会の運営・活動に関わり、点字教科書・教材の普及と啓発に努めてきました。当初は名古屋と東京に事務局を置いていましたが、2年前から大阪に拠点を移し、当館を含む3施設・団体が事務局の役割を分担しています。当館は、文部科学省や自治体との間の窓口として、問い合わせに答えたり、依頼に応じて受託団体のコーディネートを行ったりしています。

また、当館では、教点連の活動に加え、インクルーシブ教育で高校に進学した生徒の、点字教科書・教材の支援も行っています。高校の教科書は内容が専門的で大部のものが多く、対応できる点訳者を見つけることが喫緊の課題です。

今年で37年目を迎える、毎日新聞大阪社会事業団との共催による専門点訳講習会は、英語、理数、楽譜などの専門点訳ボランティアの養成を目的としたもので、これまでに受講された多くの方々に、教科書・教材点訳に関わっていただいています。

当館では、これからも、視覚障害児童・生徒の学びを支えるために、質の高い教科書・教材の安定的な製作を目指してまいります。引き続き、ボランティアの皆様のご協力、ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



専門点訳講習会「英語コース」の様子

第42回チャリティコンサートが盛会のうちに終了

当法人では、6月16日(日)に、盲導犬育成支援のためのチャリティコンサートを、ザ・シンフォニーホール(大阪市福島区)で開催いたしました。つい数日前までは天気予報が雨だったため心配していましたが、職員の祈りが天に届いたのか、当日は晴天に恵まれたコンサート日和になりました。

管弦楽団千里フィルハーモニア・大阪が待つ舞台に、澤和樹氏(指揮者)と共に登場したエメラルドブルー地に金色のスパンコールを散りばめたドレス姿の菅田利佳さんは、グリーグのピアノ協奏曲第1番の冒頭、ティンパニーのクレッシェンドに続く力強いピアノの出だいで、見事に観客の心をつかみました。菅田さんに続いて登場したヴァイオリニスト川 畠成道さんは、ヴァイオリン曲の定番といえるメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を演奏。繊細で透明感のある音色がホール一杯に響き渡りました。

今年は、誰もが一度は聞いた事のあるクラシックの名曲が選曲され、ロビーには、盲導犬訓練所のパピー(子犬)ボランティアの方による2ヶ月半のパピーがお目見えし……と、終始、

お客様にお楽しみいただけたのではないかと思います。ご来場くださいましたボランティアの皆様、ご支援者の皆様、誠にありがとうございました。当日は用事で行けないのでと、アミティチケット(視覚障害の方々のご招待およびコンサート運営費に充当)をご購入くださった多くの方々にも、心より感謝申し上げます。



澤和樹氏率いる千里フィルハーモニア・大阪と共演する菅田さん(上)と、賑わうロビー(下)

カルタオン ポスタウ

Cartão postal (絵葉書)

～根本職員のブラジル留学エッセイ～

当館6階・録音製作係は、今、空前のポルトガル語ブームです。今年2月に入職し、日々黙々と、録音雑誌のマスター製作とコピー・検聴を行っている根本和広職員ですが、高校生の時にブラジル、大学でポルトガルに留学した経験を持ち、その後も中南米を中心に何度も海外を訪れている旅行家です。今回は、高校時代のブラジル留学の思い出を聞きました。

ボア タルジ

Boa tarde! (こんにちは!)

皆さんは、ブラジルと聞いてどんなイメージを持たれますか。カーニバル? サッカー? コーヒー? シュラスコ? カポエイラ?……どこをとっても、すべてがブラジル連邦共和国そのものなのです。

ブラジルは、日本との時差はマイナス12時間。季節は、南半球に位置するので、日本が6月・7月の時は真冬となります。世界第5位の国土をもつブラジルは、広大で、北はアマゾン熱帯雨林、中央部はチリ側国境のパンタナール湿地帯、南部はアルゼンチン側との国境近くにイグアスの滝があります。北部は赤道直下、南部の内陸部は雪が降る地域も。ブラジルに立つと、あまりの広さに自分の悩みがちっぽけに思えます。

私が最初にブラジルを訪れたのは、高校2年生から3年生に掛けての1997年2月～1998年1月。アメリカ経由で約30時間のフライトでした。交換留学プログラムの試験を受けて、派遣先がブラジルに決まり、南部のサンタカタリーナ州のラジェスという田舎町で、現地の高校生と一緒に過ごしました。学費や生活費は、すべて現地のボランティアの方に支えられました。まだEメールの無い時代で、文通(絵葉書)で連絡を取っていました。

ブラジルは人種のるつぼとも言われ、北部はアフリカ系移民、南部はヨーロッパ系移民が住んでいます。私のホームステイ先はイタリア系移民の家族でしたので、ブラジル料理(フェジョン等)とイタリア料理(ニョキ、ポレンタフリッタ等)を堪能することができました。

ブラジル人は本心から陽気な性格で、誰に会っても明るい人が多く、日本のことをよく尋

ねられました(宗教のことや天皇のこと、生活のことなど)。当時高校生だった私は、日本の文化をあまりにも知らないの、答えられないことが多かった気がします。

南へ行くほど寒い。真夏のクリスマス。挨拶はハグや頬にキス3回……カルチャーショックを受けたこの交換留学は、私の人生の転機となりました。

今でも鮮明に覚えているのは次の言葉です。
ア クットゥラ ナオン テン メリョール ビョール ア ツー
 A cultura não tem melhor, pior, há so
ディファレンサ
 diferença.

『文化には優劣はなく、あるのは違いだけだ。』

留学後は、異なる考えを受け入れること、相手を尊重する姿勢などを大切に暮らしています。

(録音製作係 根本和広)



(写真)1997年9月7日、ホームステイ先のラジェスにて、ブラジル独立記念日のパレードに参加。右から、ドイツ、ノルウェー、日本(根本)、オーストラリア(2人)、アメリカの各国出身の留学生。

【今日から使えるポルトガル語】

おはよう ボン ジア Bom dia
 ありがとう オブリガード Obrigado (男性が使う)
オブリガダー Obrigada (女性が使う)
 調子はどう? トゥード ベン Tudo bem?

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2024年5月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

♣ 点字製作 ♣

5月分完成点字図書

13タイトル39冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

ありふれた言葉が武器になる

伝え方の法則
(本橋亜土) 2冊

点:中島敬子
校:清水浩子 木村寿子
篠原苑子

1日5分いけばなの歴史

(細川武稔) 4冊
点:西田恵美子

校:G校正 橋詰玲子

江戸の給与明細

(安藤優一郎監修) 3冊
点:橋本和代

校:辻野純代 平野 健

忍城落日(渡辺せつ子) 5冊

点:福山美佐子

校:水曜日グループ 橋詰玲子

球跡巡り(山本勉) 5冊

点:渡辺節子

校:奥村純子 橋詰玲子

じつは伝わっていない日本語

大図鑑(山口謠司監修) 2冊
点:雪岡加奈子

校:G校正 木村寿子

戦国武将と戦国姫の失敗学

(加来耕三) 4冊
点:雪岡加奈子

校:G校正 平野 健

地図で読み解く阪急沿線

(上田登) 4冊
点:松井育子

校:G校正 橋詰玲子

腸を整えたければバナナを食べた

ほうがいいこれだけの理由
(小林弘幸) 2冊

点:福田真弓

校:池田園子 加尾美千子

東大生が教える「戦争の終わり方」
の歴史

(東大カルペ・ディエム) 2冊

点:高木智佳子

校:G校正 木村寿子

ナオミ・クライン『ショック・

ドクトリン』(堤未果) 2冊

点:本条祐子

校:G校正 宗像真李子

パン工場はワンダーランド

(野村雅之) 2冊

点:中川春美

校:小笠原恵三 宗像真李子

遺言書は死んでも書くな

(額田洋一) 2冊

点:高橋淳子

校:G校正 篠原苑子

♠ 録音製作 ♠

5月分完成録音図書

17タイトル(書名、著者、録音時間、音訳者、校正者、編集者)

1万人の夢を分析した研究者が

教える今すぐ眠りたくなる夢
の話(松田英子) 7:24

音:大屋敦子

校:久保洋子 松井喜美代

編:山崎千代子

木が創った国(中嶋尚志) 8:35

音:寺下千秋

校:遠藤敬子 上田道子

国衆(黒田基樹) 10:46

音:宮 清子

校:佐藤保子

国会話法の正体(藤井青銅) 6:42

音:澤田由紀

校:坪田捷子 伊東晴子

編:山崎千代子

災害とトイレ

(日本トイレ協会編) 7:49

音:川端砂代子

校:濱 欣子 坪田捷子

橋村恵子

編:伊東晴子

詩が語るアメリカ

(朝比奈緑) 7:55

音:小林幸子

校:岡崎節子 脇本登志子

編:山崎千代子

情報パンデミック

(読売新聞大阪本社社会部) 8:56

音:野崎淳子

校:浜本裕子 佐藤圭子

下山とよみ

編:山崎千代子

新訳うたたね(阿仏尼 他) 6:42

音:水野順子

校:伊東晴子 田宮恭子

松井喜美代

編:荒木良子

「水中遺跡」消えた日本史を追え!

(「遺された歴史」取材班編) 5:21

音:岩谷友子

校:矢切素子 佐山敦子

編:辻野玲子

聖書から出た日本語100

(米川明彦) 8:41

音:谷澤耀子

校:岡 香代子 中澤康子

吉田典子

編:山崎千代子

世界一簡単なメンズメイクの

教科書(西日本ヘアメイク

カレッジ編 他) 2:21

音:神谷勉子

校:木村純子 松井喜美代

編:山崎千代子

世界を変えた実験と研究

(齋藤勝裕) 6:35

音:岩田真智子

校:福島博子

どん底に落ちた養分たち

(鈴木傾城) 8:07

音:岸田素子

校:石原英子 松井喜美代

編:植田美穂子

脳医学の先生、頭がよくなる

科学的な方法を教えて下さい

(瀧靖之) 8:54

音:松本紀代 眞津野秀子

校:目連雅子 平田恵美子

辻野玲子

編:岡村佳子

80代から認知症はフツー

(和田秀樹) 5:18

音:山口和葉

校:久保洋子 栗本慶子

佐山敦子

編:岩谷友子

短いのに感じがいいメールが悩まず

書ける本(亀井ゆかり) 6:10

音:有川美津子

校:鈴木ますみ 松井喜美代

編:辻野玲子

歴史を読み解く城歩き

(千田嘉博) 9:44

音:岡 香代子

校:谷澤耀子 久保洋子

松井喜美代

編:辻野玲子

◆ 定期刊行物 ◆

『ONE BOOK ONE LIFE』2024年6月号

発送:木下正義 中島小夜子

中島千恵 西垣泰子 山田一弘

『読書』2024年6月号

デジ版 1:09

音:下山とよみ 校:寺下千秋

発送:井川倭文子 板波キミ

並木昌子 宮野興子

『アミ・ドゥ・ブライユ』第53号

点字版 1冊

点・校:安達恵美子 梶原由美子

栗栖 忍 鴻上真理

前田朱実 南 佳奈

山根真紀子

『JRニュース』2024年6月号

点字版 3冊

点・校:金曜日グループ

『お役立ち目録～背筋がゾクッと

寒くなる小説』2024年6月号

デジ版 0:10

音:下山とよみ 校:寺下千秋

『子供の科学』2024年4月号

デジ版 3:41

音・校・編:グループ汐(ゆうしお)

井駒多津子 岸田素子 冨田禮子

田中英子 土井明美 宮 清子

吉田 薫

『サイエンスかわら版』2024年4月号

デジ版 4:00

音・校・編:情報文化センター

「理数チーム」

小倉玲子 河原眞知子 阪本美紀

橋本万里 畑 豊弥 瀨 欣子

濱名あきよ

『Tehamo(てはも)』Vol.4 No.1

(通巻9号)

デジ版 13:00

音・校・編:情報文化センター

「東洋医学チーム」

荒木良子 岩崎千佐子 植田美穂子

大坂陽子 岡村佳子 片岡珠子

金井典子 川端砂代子 久保洋子

小林万智子 坂本雪枝 佐古智子

佐山敦子 関岡直江 羽淵雅子

濱名あきよ 前川祐子 前田元子

渡辺一枝

『日経パソコン』

2024年5月号 デジ版 3:33

音・校・編:情報文化センター

石井那智子 岡村佳子 桂 公子

金井典子 北川温子 木村純子

上月直子 小林幸子 小林万智子

小森佳津子 佐藤圭子 佐山敦子

嶋川真理子 下山とよみ 寺下千秋

寺田美枝子 西村郁子 二宮真理

橋本万里 畑 豊弥 平田恵美子

福島博子 前田元子 水谷和子

溝淵久美子 目連雅子 森口慶子

『英語よもやま通信』2024年6月号

デジ版 2:30

音・校・編:情報文化センター

「英語チーム」

岡崎節子 川端眞知子 川辺洋子

小林幸子 中島美穂 中原尚子

西田芳美 西和田恵子 前田元子

脇本登志子

『鍼灸柔整新聞』デジ版

2024年4月25日号 1:34

2024年5月10日号 1:45

音・校・編:情報文化センター

「東洋医学チーム」

荒木良子 岩崎千佐子 大坂陽子

金井典子 川端砂代子 小林万智子

坂本雪枝 関岡直江 羽淵雅子

前田元子

『週刊新潮』デジ版

◆2024年5月2日・9日号 12:04

榎原真理 大橋けいこ 岡村勝彦

奥田和美 音無幸子 加藤洋子

上田啓子 河原眞知子 衣田智恵美

木村加代 黒河典子 後藤泰子

鈴木けいこ 正田潤子 土井しずえ

中村千賀子 中村直美 中本和代

西田文子 野村美穂子 林 よしこ

兵頭つね子 深津綾子 福井えいこ

福田佳代 藤原雅子 森嶋美穂

光成明子 向高寿子 山本はるよ

編:中本和代

◆2024年5月16日号 10:33

荒木節子 太田貴子 越智真弓子

婦村千恵 阪本美代子 清水百世

高久俊子 寺西竹子 中岡兢子

成田次雄 成田由起 西村道子

西山トシ子 直場徳宥 橋本明子

服部秀美 前田元子 松原和子

松本昌子 山下 豊 山田栄利子

和田文子

編:佐古智子

◆2024年5月23日号 09:39

有川美津子 石原晶子 井上真子

岩谷京子 大島幸枝 大塚しづ子

岡崎節子 上村裕子 神谷勉子

川添美智子 川端砂代子 久下悦子

國本生子 阪本美紀 佐藤公平

澤井 稔 地福延代 嶋津美香
鈴木栄二 高橋孝子 武市敦子
伊達弘美 立川有紀子 玉置明美
田宮加代 地上博子 坪田捷子
寺下千秋 富田久美子 西岡千代子
西田千波 橋村恵子 兵頭賢一
平田恵美子 廣田あけみ 松浦洋子
山下幸子 和布浦眞里子
編:西村道子

◆2024年5月30日号 9:36

畔田文恵 石原晶子 稲田至功子
井上真子 大島幸枝 岡崎節子
上村裕子 川添美智子 川端砂代子
川本くるみ 北元直子 久保諄洗
小池雅子 國分清子 佐藤公平
嶋津美香 鈴木栄二 高田雅子
高橋孝子 高山広美 武市敦子
竹内清子 濱 洋一 兵頭賢一
平田恵美子 弘津千加子 水上栄子
八十嶋篤子 矢野ひろみ
和布浦眞里子
編:尾島和代

◆新潮音訳協力グループ

八幡市民図書館朗読ボランティア
サークルよむよむ
奈良県視覚障害者福祉センター
「草笛会」
グループN-BUN
デイジー大阪

♥ プライベート製作 ♥

点字図書

「金平糖」第182回 短歌サロン 1冊
点:待田敏彦 校:若林安也子

★ 電子書籍 ★

◆テキストDAISY図書

産経新聞 産経抄
2024年5月1日～5月15日
テキスト化:池尻三千子
木原富子 佐藤久子
西村佐世子

産経新聞 産経抄

2024年5月16日～5月31日
テキスト化:池尻三千子
千徳節子 西村佐世子
新田 優

MONTHLY “日本一”明るい

経済新聞5月号
テキスト化:池尻三千子
西村佐世子

◆マルチメディアDAISY図書

夏のクリスマスツリー
スキャン:片山広美
テキスト化:片山広美
池尻三千子
DAISY編集:山田理子
音:尾屋智恵子

♥ 対面リーディング ♥

青木幹雄 阿部美枝子 井上恵子
大村登子 片山紀子 鎌田 潤
河上千鶴 小池雅子 柴山和子
竹内清子 千原加容子 野口令子
細井昌子 眞野祥子 宮本和子
森田幸子 森田 陞 山内紀代子
脇野由起子
5月 利用者8人・20件

『対面リーディング通信』編集

伊東晴子 木村謹治 澤井 稔
細井昌子

☞ 館内お手伝い ☞

図書・情報サービス

板波キミ 上田敬子 片岡忠克
木村謹治 婦村千恵 京村禎子
小寺高子 田間泰子 塚本紀子
逸見恵子 待田敏彦 宮嶋昌代
森本益子 渡邊洋子
[茨木市バラの会]
堂 晴美 永崎利恵
高見澤央子 吉田 充

整理・情報サービス

板波キミ 鱗星千恵子
逸見恵子 渡邊洋子

電子書籍

池尻三千子 西村佐世子

館内作業

井上恵子 江島理枝

◆5月の貸出実績

点字 135tl DAISY 2371tl
テープ 1tl

★5月の人気貸出図書★

(当館製作図書。順不同。)

【点字図書】

ニュースがわかる!世界が
見える!おもしろすぎる地理
(宮路秀作)

海原鮮魚店のお魚ミステリー
日和(明利英司)

暮らしを楽しむ四季の大和言葉
(車浮代)

精神科医が教える親を憎むの
をやめる方法(益田裕介)

【録音図書】

「お腹のトラブル」撲滅宣言!!
(石黒智也)

ブッダの獅子吼(北川達也)
源氏物語の世界(中村真一郎)
武士とは何か(呉座勇一)

☒ パソコンサポート ☒
(ボイスネット)

【5月実績】

来館:斧田綱子 石川昌宏
栗谷博子 木村朱美
週報:和田眞由美
HP更新:中条正信

《一ツ橋総合財団助成事業》

アクセシブルな電子書籍、
シネマ・デイジー等、当館の
先進的なメディアは公益財団
法人一ツ橋総合財団のご助成
により製作されています。

スリランカのハルシャニさんが当館で研修

ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業の第23期生として昨年10月来日したスリランカのハルシャニ・カウシャルヤさん(弱視、女性)が4月中旬から5月中旬、当館をはじめ関西各地で研修を受けられました。ハルシャニさんは、コロombo大学を卒業後、視覚障害者団体のメンバーとして大学で学ぶ視覚障害学生の支援を行って来ました。当館では、英語通訳のボランティア(先月号で紹介)のご協力を得て、点字製作係で点字教科書製作について学んだほか、録音製作、視覚障害者用具とICT機器、サピエ図書館などを研修。視覚障害リハビリセンターや国立民族学博物館も見学し、当館職員との交流も深めました。7月に成果発表を終えて帰国する予定ですが、今後は高等教育機関での学習環境の整備・支援に取り組みたいとのこと。ますますのご活躍をお祈りします。

日本文藝家協会などが読書BFに関する共同声明

今春、日本文藝家協会、日本推理作家協会、日本ペンクラブが「読書バリアフリーに関する三団体共同声明」を発表しました。声明文には、表現に携わる者として、「読書バリアフリー法」、改正「障害者差別解消法」、「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」に賛同の意を表し、出版界、図書館界とも歩調をあわせ、読書環境整備施策の推進に協力を惜しまないと綴られています。共同声明のきっかけは、芥川賞を受賞した市川沙央^{さおう}さんの著書『ハンチバック』と、市川さんが自らの言葉で読書保障を強く訴えた会見だったとのこと。前月号でご紹介したように、当館では今年度からSARTRAS(授業目的公衆送信補償金等管理協会)の助成金を受け、出版者と協力して、電子書籍をアクセシブルなものにする事業への取り組みを始めましたが、この共同声明により、今後、出版される電子書籍のアクセシブル化が促進されることを願います。

感謝報告 (続き)

＊ ご 寄 附 ＊

総本山金剛峯寺社会人権局社会課
近畿視覚障害者情報サービス研究協議会
西口隆司 (敬称略をご容赦下さい)

中央区バリアフリー上映会に協力

6月8日(土)、大阪市中央会館で、中央区社会福祉協議会「HANDSちゅうおう」主催のバリアフリー上映会『海よりもまだ深く』(監督・脚本：是枝裕和、キャスト：阿部寛、樹木希林、真木よう子、他)が開催され、当館が映画本編の上映と音声解説の配信を担当しました。当日は、当館の利用者やボランティアの方も来場され、会場は世代を超えた220人の参加者で満席になりました。上映後のアンケートでは、「バリアフリーに興味を持てた」「音声解説を初めて聞いたが、とても分かりやすかった」などの声が寄せられました。

あゆみ

【6月】

- 13日 サービス部休室(在庫・書庫整理日)
- 15日 オープンデー(館内見学日、2人)
- 16日 日本ライトハウスチャリティコンサート
- 21日 専門音訳講習会「小説の読み方コース」開講
ライトハウス職員人権研修1回目
- 28日 わろう座映画体験会

予定

【7月】

- 11日 サービス部休室(在庫・書庫整理日)
ボランティア友の会「ガイド体験会」
ボランティア世話人会
- 13日 製作部休室(15日月曜指定祝日の振替)
- 16日 サービス部休室(15日月曜指定祝日の振替)
- 20日 オープンデー(館内見学日、要予約)

編集 家族が梅酒に漬けた梅を使ってジャムを後記 作ってくれました。ドイツにはルバーブという酸味の強い野菜があり、ジャムを作ると梅ジャムの味によく似ているそうです。梅や梅を使ったお菓子が好きなので、いつか食べてみたいです。(徳)

ワンブックワンライフ
ONE BOOK ONE LIFE 2024年7月号

発行 社会福祉法人日本ライトハウス
情報文化センター(館長 久保田 文)
住所 大阪市西区江戸堀1-13-2(〒550-0002)
TEL 06-6441-0015 FAX 06-6441-0095
E-mail info@iccb.jp

表紙絵 かたおか朋子
発行日 2024年7月1日
定価 1部100円 年間購読料1,000円

公式SNS



X(旧Twitter)



Instagram



YouTube



Podcast